

兵庫県警察と連携し、 横断歩道合図（アイズ）運動プラスを推進！

～交差点通行時の注意ポイントや基本ルールなどをまとめた啓発チラシを作成～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務代表取締役）では、兵庫県警察が展開している「横断歩道合図（アイズ）運動プラス」（※1）に協力し、兵庫県内の交通安全を推進します。

当協会では、2024年9月13日に「最新の『全国交通事故多発交差点マップ』を公表」をニュースリリースしました。兵庫県は、全国の交通事故多発交差点ワースト10に複数の交差点がランクインした昨年度の状況からは脱しましたが、2023年の兵庫県内の全交通事故（人身事故）件数（16,281件）のうち、交差点事故の割合が70.6%（11,487件）と多くを占める状況に変わりありません。

これを受け、当協会近畿支部では、兵庫県警察と連携し、「横断歩道合図（アイズ）運動プラス」の推進と交差点における交通事故防止を掛け合わせた啓発チラシを作成しました。

本チラシでは、歩行者やドライバーが交差点を通行するときに気を付けるべきポイントを道路図面上でイメージしながら理解することができるように工夫しています。また、兵庫県内の事故多発交差点ワースト5についても紹介しています。（※2）

多発する兵庫県内の交差点事故を1件でも減らすため、兵庫県警察と連携して本チラシの活用等を通じ、啓発に努めてまいります。

* 下記 URL からチラシ（PDF）をダウンロードいただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kinki/2024/2412_chirashi.pdf

（※1）「横断歩道合図（アイズ）運動プラス」について

- ・ 「横断歩道合図（アイズ）運動」と「横断歩道手前減速運動」を総称したものです。
- ・ キーワードは「手と目で合図」です。具体的な内容は以下のとおりです。

【歩行者】信号機のない横断歩道では、手を挙げるなどして横断を合図する。

【ドライバー】横断歩道手前のダイヤモンドマークであらかじめ速度を落として、歩行者がいる場合は確実に一時停止する。

- ・ 歩行者に対し、横断を促す合図をする。

【歩行者およびドライバー】歩行者、ドライバー双方が視線を合わせる、いわゆるアイコンタクトを行う。

（※2）兵庫県内の2023年の事故多発交差点

- ・ 浜崎通交差点（13件・ワースト1位）
- ・ 小花1丁目交差点（13件・ワースト1位）
- ・ 神戸市西区櫛谷町長谷385番地付近交差点（12件・ワースト3位）
- ・ 税関前交差点（11件・ワースト4位）
- ・ 東川崎交差点（10件・ワースト5位）
- ・ 長田交差点（10件・ワースト5位）
- ・ 和坂交差点（10件・ワースト5位）